

若鮎まつりPRシャツ

デザインを一新

舟形町の一大イベントである『ふながた若鮎まつり』。次回開催で40回を迎えるにあたり、今年度、若鮎まつりポロシャツ・Tシャツのデザインを一新しました。

デザインは多摩美術大学出身のグラフィックデザイナーの小林一毅さん(※)に依頼し制作しました。

これを着用することで、町内外の方に広く周知して第40回ふながた若鮎まつりを更に盛り上げていきたいと思います。

舟形駅にある観光物産センターめがみで購入可能です。詳しくは問い合わせください。

▼問い合わせ／

観光物産センターめがみ ☎ (32) 3302



- ・ポロシャツ 1,600円
- ・Tシャツ 1,400円
- 黒、カーキ、ネイビーの3種類
- サイズは S・M・L

※デザイナーズプロフィール

小林 一毅 (こばやし いっき)
グラフィックデザイナー。1992年滋賀県彦根市生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン学科を卒業後、(株)資生堂を経てフリーランス。16年TDC賞、19年JAGDA新人賞、日本パッケージデザイン大賞銀賞受賞。

Interview ～インタビュー～

昨年に引き続き、ドライブスルー形式にて開催いたしました。二日間天候にも恵まれ、多くのお客様に美味しい鮎をご提供することが出来ました。

今回は、焼き鮎の他に鮎天井・生鮎(冷凍)の

販売もありましたので、昨年以上にお客様にはお楽しみいただけた事と思います。これからも町の特産である鮎をみなさまにお喜びいただけるようご提供してまいります。



(株)舟形町振興公社
支配人
白鳥 忠明さん



舟形の秋の味覚を代表する「鮎」。昨年度に引き続き、「ふながた若鮎まつり」が中止となり、毎年たのしみに行っているみなさんに、香ばしい鮎を提供する機会が失われてしまいました。

そんな中、町では多くのみなさんに舟形の鮎をたのしんでいただくため、町特産品販売促進事業(株)舟形町振興公社に委託)として2回目となる「焼き鮎ドライブスルー」が開催されました。

鮎の塩焼きに加え、鮎天井と生鮎(冷凍)が購入できるようになり、より多くの方に舟形の秋の味覚をたのしんでいただくことができました。



鮎をスムーズに提供

9月11・12日、アユパークで、町特産品販売促進事業として「焼き鮎・鮎天井ドライブスルー」が行われました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、町最大のイベント「ふながた若鮎まつり」が中止となりましたが、町の特産である「鮎」を味わってみたいという思いから、完全予約制で販売しました。当日は、(株)舟形町振興公社と舟形町観光物産協会、小国川漁業協同組合、町職員が密を避けるなどの新型コロナウイルス感染症対策を講じながら販売。町長は「来年こそは第40回若鮎まつりを開催いたします。ぜひお越しください」と声をかけながら、鮎を手渡しました。

新しいメニューが追加

昨年度は、焼き鮎のみの販売でしたが、今年は舟形町観光物産協会「舟形美食の丘レストラン・テール」より「鮎天井」が、小国川漁業協同組合より「生鮎(冷凍)」が新メニューと

して追加され、舟形の秋の味覚をより多くの方々にご賞味いただくことができました。

町内外から多数の予約があり、2日間で9千尾を超える鮎が販売されました。購入した方からは「焼きたてをすぐに食べられるのはうれしい」などの声をいただきました。

▼問い合わせ／

舟形町まちづくり課交流促進係
☎ (32) 0844